研修の特徴 整形外科

多摩総合医療センターで研修可能なサブスペシャルティ領域

手外科	プログラム責任者：整形外科　辰巳　徹志 プログラム期間：３年

手外科は主に外傷、変性疾患、先天性疾患の３つの分野がありますが、この中で外傷、変性疾患は整形外科の日常診療で頻繁に扱うもので患者のニーズも高いです。
しかし、人間の手はその高い機能のためか構造が小さく複雑でその診療には多くの知識、高い技術、豊富な経験が必要です。
また、神経や血管を扱うマイクロサージャリーの技術も必要であり、専門性が高いです。当院では外傷と絞扼性神経障害、関節リウマチなどの変性疾患の治療を多く行っており、年間手術件数は500件程度あり、手外科の基礎を学ぶことができます。
また、当院では症例の少ないマイクロサージャリー、先天性疾患については連携施設で研修を行うことができます。

墨東病院で研修可能なサブスペシャルティ領域

整形外科リウマチ	プログラム責任者：リウマチ膠原病科　西川　卓治 プログラム期間：３年

研修目標は、①関節リウマチの病態を理解すること ②正確な診断がつけられること ③適切な薬物療法を行えること ④破壊の進んだ関節に対して専門性の高い手術が行えること ⑤患者の状態を総合的にとらえ社会支援の導入ができることの５点です。
整形外科医にしかできない手術療法については、全身状態や軟部組織・骨の脆弱性などリウマチの特性をよく理解した上で、人工関節全置換術（手MP・肩・肘・股・膝・足関節）、関節形成術および腱移行術（手関節）、関節固定術（手指・手関節・足関節）の適応および正確な手術手技を取得します。
整形外科系の学会や日本リウマチ学会での発表を行い、論文化をめざします。最終的に、日本整形外科学会リウマチ専門医および日本リウマチ学会認定医が取得できるまでの知識および技量を身につけられるようにします。